

2022年4月6日

東京大学在学生の皆様

東京大学校友会
副会長兼幹事長 藤吉泰晴

会費納入のご依頼

前略 初めまして、1981年法学部卒業の藤吉と申します。

校友会は、2004年の東京大学の独立法人化を契機に大学主導の全学同窓組織として発足し、現在、国内外の同窓会等 310 団体が団体会員として登録する一方、存命の卒業/修了生約 20 万名、在学生、教職員の全員が自動的に個人会員となっています(会長は宗岡正二日本製鉄相談役、名誉会長は藤井輝夫東京大学総長)。校友会の主要活動としては、発足当初から会報発行やホームカミングデイ開催(大学と共催)があり、近年は在学生支援のプログラムを拡充しています。

校友会は、昨年7月に会則を改正し、まず、目的及び事業に「大学への支援」を明記しました。すなわち、会則第2条に、「東京大学の発展をグローバルに支援することを目的とする」と記載して、「卒業後は、なぜか群れない東大生」から脱却し「群れて世界と競争しよう」との意識を込めさせて頂きました。一方、必要経費(人・物件費)の多くを大学に依存してきた状況を改め財政的自立を図るために、会費(各会員1回きり1万円)の規定を新設しました。この結果、団体会員及び個人会員から広く会費を納入頂ければ、年間数千万円の経費を賄える上に、校友会活動の更なる拡充による在学生の皆さん、ひいては大学への支援が可能になると考えています。

就きましては、在学生として校友会個人会員であられる皆様には、下記 URL、QR コードから「在学生 決済フォーム」(以下「決済フォーム」)にアクセス頂き、必要事項をご入力の上、クレジットカード決済ないしコンビニ決済にて会費1万円をご納入頂ければ幸いです。

会費納入に際して決済フォームに入力頂いた個人情報につきましては、クレジットカード会社やコンビニ会社には連携されませんのでご安心下さい。

決済フォームに入力された個人情報は、校友会が独自で構築する(或いは将来、東京大学と連携して更新・構築する可能性のある)個人会員に関するデータシステムに使用する場合があります他、校友会から会費納入済みの個人会員に対する限定的、優先的なサービスや情報の提供(例えば、就活支援イベントの先行案内)のために使用させて頂きます。これら以外の目的による使用は、事前にご本人のご同意を得た場合に限ることと致します。

尚、校友会会員でない方が会費相当額を納入された場合、納入された方からの返還要請が無い限り校友会に対する任意のご寄附として受け入れさせて頂きます。

末筆ながら皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念致します。まずはご依頼まで。 草々

記

校友会会費納入用決済フォームへのアクセス

(メールアドレスは卒業/修了後も使われるものをご入力下さい):

https://paysys.jp/forms?form_code=3778508275708213



照会先: 東京大学校友会事務局 E-mail: utaa.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

以上